



江戸の 歴史・文化の 理解促進に係る ワークショップ

第1回

東京都は、江戸時代から今に息づく有形・無形の様々な歴史・文化に焦点を当て、「江戸の歴史・文化」を活用した東京の観光振興を推進しています。

この取組の一環として、旅行関連事業者の皆様を対象としたワークショップを全3回開催します。地元の歴史・文化の魅力や奥深さについての理解を深め、観光資源としての可能性を知っていただくことで、旅行者の方がより一層東京観光を楽しめるような商品造成等にもつなげていくことを目的としています。ご興味のある事業者の皆様は、ぜひご参加ください。



「水運」をテーマにした

観光街歩きワークショップ

江戸に入府した徳川家康によって、河川の開削が行われ、町を巡る水路は世界有数の大都市での生活を支える重要なインフラとなっていきます。今回のワークショップでは、この「水運」をテーマに観光街歩きの楽しみ方を紹介し、江戸期の水運に関する理解を深めていただけます。当時の水路が残されている清澄白河エリアをフィールドとし、実際の水路や周辺の観光スポットを取り上げながら、水運を活かした地域資源の魅力化を行う方法を考えます。

令和7年

10/31 金 雨天決行
13:00~16:00

参加費
無料

会場 森下文化センター（東京都江東区森下3-12-17）

対象 都内旅行事業者、都内自治体の観光担当者、都内観光協会、旅行商品の造成等に携わる事業者等

内容 江戸期の水運に関する講義、フィールドワーク（90分程度）、グループワーク

定員 先着30名程度

主催 東京都

ふるはた ゆうすけ
講師：古畑 侑亮氏

1990年、長野県諏訪市生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。現在、獨協大学国際教養学部言語文化学科特任講師。

江戸から明治を生きた市井のコレクターの営みやその遺産について研究。2024年に『コレクションと歴史意識—十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし—』を勉誠社より刊行。文学通信HPにて「江戸の勉強術」を絶賛連載中。歴史学と社会との関係に関心を持ち、街歩き企画“エド散歩”やハイブリッド講演会“お江戸night's”などを開催している。



参加申込 10月24日（金）までに必要事項を右記の申込フォームからご入力ください。「受付完了メール」をお送りします。 申込フォーム▶

お問合せ 江戸の歴史・文化の理解促進に係るワークショップ運営事務局（株式会社エイチ・アイ・エス内） edo-rekishibunka@his-world.com

